

CASBEE-広島（2010年ver.1）
(仮称)パークホームズ宇品御幸

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										3.3
Q1 室内環境							0.40			3.3
1 音環境						2.6	0.15	2.8	1.00	2.7
1.1 騒音				コンクリート厚180の界壁 Lr=45の遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 暗騒音レベル		3.0	1.00			3.0	1.00			
設備騒音対策			-				-			
1.2 遮音						3.0	0.40	3.5	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00			3.0	0.30			
2 界壁遮音性能			-			4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-			4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-			3.0	0.20			
1.3 吸音						1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境								2.6	0.35	
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	1.00	
1 室温設定		3.0	0.63			-	-			
夏期多量冷房稼働時			-				-			
3 外皮性能		3.0	0.38			3.0	1.00			
4 ゾーン別制御性			-				-			
夏期・冬期別制御			-				-			
個別制御			-				-			
冷房・暖房に異なる配慮			-				-			
設備・工法			-				-			
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境						2.0	0.25	3.5	1.00	3.2
3.1 屋光利用				大きな開口部採用		1.8	0.30	4.0	0.50	
1 屋光率		1.0	0.60			5.0	0.50			
2 方位別開口			-				0.30			
3 屋光利用設備		3.0	0.40			3.0	0.20			
3.2 グレア対策						1.0	0.30	3.0	0.50	
眩しさを軽減			-				-			
2 屋光制御		1.0	1.00			3.0	1.00			
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
1 照度		3.0	1.00			-	-			
照度を確保			-				-			
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境						4.4	0.25	4.5	1.00	4.4
4.1 発生源対策				VOCを含まない又は非常に放出量の少ない建材を採用している		5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		5.0	1.00			5.0	1.00			
臭気対策			-				-			
ホルムアルデヒド対策			-				-			
放射性物質対策			-				-			
4.2 換気				換気容量の大きい器具を採用している 開閉可能な窓の確保		3.5	0.40	3.6	0.38	
1 換気量		4.0	0.50			4.0	0.33			
2 自然換気性能			-			4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50			3.0	0.33			
給気設備			-				-			
4.3 運用管理							-		-	
1 CO ₂ の監視			-				-			
2 喫煙の制御			-				-			
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.6
1 機能性						3.4	0.40	4.2	1.00	4.0
1.1 機能性・使いやすさ				Gbitクラスのプロードバンドが利用可能		3.0	0.60	5.0	0.60	
1 広さ・収納性			-				-			
2 高度情報通信設備対応			-			5.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00				-			
1.2 心理性・快適性						4.0	0.40	3.0	0.40	
1 広さ感・景観			-			3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-		-					
3 内装計画		4.0	1.00	3.0	0.50					
1.3 維持管理				建物と照明にそれぞれデザイナーを採用し設計段階で細かい検証をした			-		-	
1 維持管理に配慮した設計			-				-			
2 維持管理用機能の確保			-				-			
2 耐用性・信頼性						3.2	0.31		-	3.2
2.1 耐震・免震				住宅性能評価の劣化対策等級3の規定を満たしている		3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0	0.80				-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20				-			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.7	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数		5.0	0.23				-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23				-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09		-					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.15		-					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-					
3種(排水用鑄鉄管、塩ビライニング鋼管、水道用ポリエチレン管)共B以上採用						5.0	0.15		-	
						3.0	0.23		-	

2.4 信頼性			節水型器具の採用、配管の系統分け災害時用給水栓を設けている	3.2	0.19		-	3.5
1	空調・換気設備	3.0		0.20	-			
2	給排水・衛生設備	4.0		0.20	-			
3	電気設備	3.0		0.20	-			
4	機械・配管支持方法	3.0		0.20	-			
5	通信・情報設備	3.0		0.20	-			
3 対応性・更新性				3.4	0.29	3.6	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり			階高3.01m以上		-	4.2	0.50	
1	階高のゆとり			-	5.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ			-	3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり					-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.4	1.00		-	
1	空調配管の更新性	3.0		0.17	-			
2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-				
3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-				
4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-				
5	設備機器の更新性	住宅性能評価の維持管理対策等級(共用配管)2(専用配管)3の規定を満たしている	5.0	0.22	-			
バックアップスペース			3.0	0.22	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			リバーフロント建築物等美観形成精度の基準を満たしている	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制				3.0	0.40		-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20		-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			高効率の蛍光灯を使用している	5.0	0.40		-	5.0
4 効率的運用					-		-	-
4.1 モニタリング					-		-	
4.2 運用管理体制					-		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護				3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水			節水型便器、節湯器具などの採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用				3.0	0.60		-	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00		-	
2 雑排水再利システム導入の有無					-		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.5	0.63		-	3.5
2.1 材料使用量の削減			陶磁器タイル、断熱材グラスウール、アスファルト露出防水保護塗装仕上	2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20		-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				内装材と設備が錯綜していない	4.0	0.24		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.9	0.22		-	3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.3	0.68		-	
1 消火剤			ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33		-	
2 断熱材			ノンフロン断熱材を使用している	5.0	0.33		-	
3 冷媒			エコキュート(CO2冷媒)使用	4.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			住宅性能評価の劣化対策等級3の規定を満たしている	4.9	0.33		-	4.9
2 地域環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			燃焼機器を使用していない	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.3	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減				-	-		-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33		-	
3 交通負荷抑制			平面駐車で適切な駐車台数を確保している	5.0	0.33		-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮				2.4	0.33		-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			広告照明等の使用なし	3.0	0.40		-	
1 騒音				3.0	1.00		-	
2 振動				-	-		-	
3 悪臭				-	-		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制				1.6	0.40		-	
1 風害の抑制				1.0	0.70		-	
2 日照阻害の抑制				3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-	